

ユビキタスフォーラム'14.06

【アンケート集約結果】

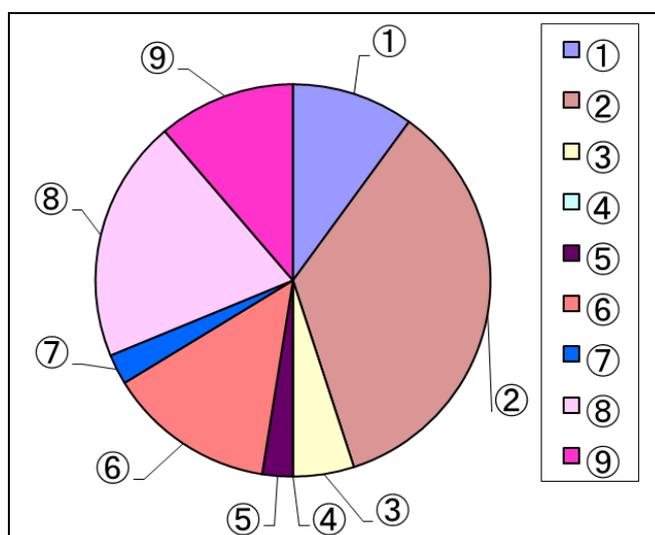
- 日時 平成26年6月19日(木) 14時00分 ~ 17時10分
- 会場 広島国際会議場 地下2階 大会議室 ダリア2
- 主催 総務省中国総合通信局、広島市、中国経済連合会、広島商工会議所、中国電子タグ(RFID)利活用研究会、中国情報通信懇談会
- 協賛 情報通信月間推進協議会
- 参加者数/アンケート回収数 106名/72名 (回収率67.9%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会 ②中国総合通信局 ③広島市 ④中国経済連合会 ⑤広島商工会議所
- ⑥中国電子タグ(RFID)利活用研究会 ⑦新聞等 ⑧上司・同僚・知人等 ⑨その他

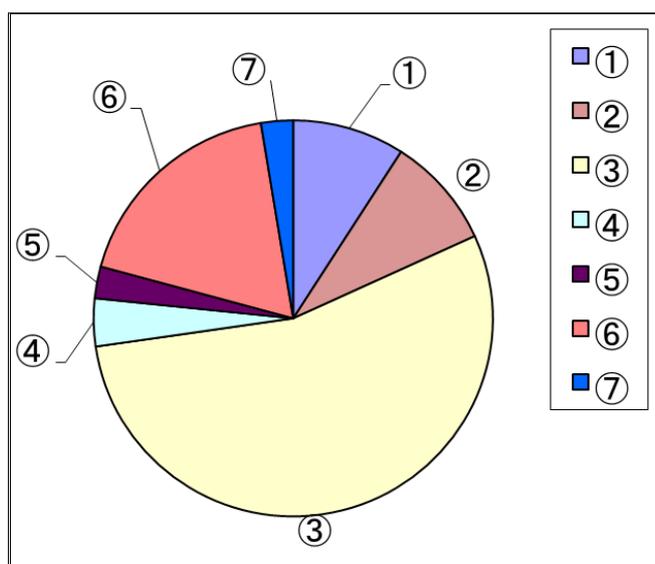
番号	回答数
①	8
②	28
③	4
④	0
⑤	2
⑥	11
⑦	2
⑧	16
⑨	9
計	80



どのような方法で

- ①HP ②メールマガジン ③メール ④記事等 ⑤FAX ⑥直接聞いて ⑦その他

番号	回答数
①	7
②	7
③	42
④	3
⑤	2
⑥	14
⑦	2
計	77

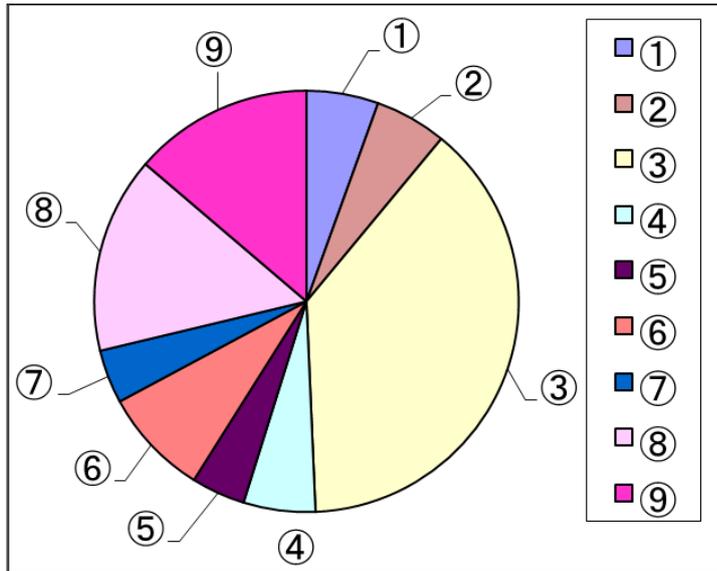


2 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦学生 ⑧その他の事業 ⑨個人

番号	回答数
①	4
②	4
③	28
④	4
⑤	3
⑥	6
⑦	3
⑧	11
⑨	10
計	※73

※ 2つ選んだ方が1名いたため、アンケート回収数と相違します。



3 本フォーラムの各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演1 『電波について・・・今さらの話題と最近の技術の動きから』

講師：総務省 中国総合通信局 無線通信部 部長 林 義也 氏

大変参考になった	29	興味がわく話だった	32
参考になった	38	興味がわかない話だった	1
あまり参考にならなかった	1	おもしろかった	27
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. パワポの図が分かりやすく、解説も良かった。
2. 電波がこれほど日常生活において使用されているとは思いませんでした。非常に勉強になりました。
3. 良く判る話でした。話上手です。
4. 電波技術の基礎が改めて再認識することができ、よくわかった。
5. 目に見えない電波について分かりやすい表現が多く、学生指導の参考とさせて頂こうと思いました。
6. 電波の基礎的な所が分かり、とても勉強になりました。
7. 分かりやすく説明されて大変良かった。
8. 大変分かりやすく、電波の歴史等改めて知ることができ勉強になりました。
9. 素人、プロ双方に分かり易い資料とトークだった。
10. 飽きさせない話方で興味を持って聞くことができた。
11. 出来るだけ分かり易くという工夫が伝わった。
12. 電波について発明から様々な利用までコンパクトに分かり易い説明でした。
13. ゼスチャー交えて舞台のような話は、とても素晴らしかったです。
14. まだ知らない事もありますが、今日の資料をもとに深めていきたいと思いました。
15. 電波の生い立ちから変調方式など、分かり易く説明いただいた。
16. 難しい電波の事を分かり易く説明する方法がつかめました。

講演2 『電波伝搬と自然現象・・・』

講師：広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授 吉田 彰顕 氏

大変参考になった	30	興味がわく話だった	44
参考になった	26	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	3	おもしろかった	16
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. FM放送波を使って実験しているのがミソなのか・・・(Eスポの影響を受けやすい)とても興味深く拝聴させて頂きました。
2. 電波のふしぎな現象、今後の研究を期待します。
3. 日常生活だけでなく地震前兆研究にも電波が使用されている事が分かりました。
4. 定量的ではないので不明な点がありますが、東北の地震の際に3.5MHzの伝搬レベルが非常に悪くなったことがあります。日時等細かく取れていません。
5. 27MHzは、アマチュア無線ではなく、不法無線。
6. FM放送は夜間停波する時間はないですか？
7. FM波とした理由は？ MForLFの電波、燈台や電波時計の波はどうなんでしょうか？
8. 話慣れて聞き入るしゃべりだった。
9. 自分の知識の中と同程度の内容でよく判った。
10. 一つずつ学生と行ったのには感心した。
11. 地震との関連付けは難しいと思います。
12. FM波(VHF)について、再確認できた。
13. 私が知らなかった分野での電波利用について理解することが出来ました。
14. 地震発生後のノイズについて興味がありました。
15. 地震予知と電波の関わりについては、研究を更に続けてもらいたい。
16. 身近な話題で、より電波に興味があく内容だったと思います。
17. 大変興味深い話で、いろいろ触発される点があった。
18. 電波伝搬の特性を利用した研究内容、非常に興味がわきました。
19. 宅内の見守りシステムの実用化、期待しています。
20. 長期間、地道にデータを収集され、変化の要因分析を適確にされていた。
21. 電波を利用した特許の可能性を改めて感じた。
22. 電波の伝わり方を実験をベースに具体的に説明され、よく理解できました。

講演3 『宇宙の利用と電波』

講師：広島国際大学 工学部 教授 川上 用一 氏

大変参考になった	12	興味がわく話だった	32
参考になった	40	興味がわかない話だった	6
あまり参考にならなかった	5	おもしろかった	12
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	2

1. 講演1, 講演2を踏まえた上で講演を聞くと電波は日常生活だけではないことが理解できる。
2. 静止衛星や周回衛星以外におもりとして打ち上げられたルービックキューブ衛星にも興味があります。
3. 全く雲の上の話であったが、生活に密着している実感が少ないのはなぜか？
4. 知識のまとめとして参考になった。
5. 人工衛星を利用した情報通信についての概要を再認識、再確認することが出来ました。
6. 宇宙通信という普段身近でないようで意外と生活にも関わる話題で、面白い内容だった。
7. 普段考えない事を教えていただき、ありがとうございました。
8. 電波の宇宙分野での利用、分かり易かったです。役に立ちました。
9. 諸元の説明が多かった。
10. 現在の衛星利用状況がわかりました。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 見守りへの応用などの可能性に興味あり。
2. 限りある電波であるが、日進月歩で技術開発が進む中、ハードが先行し過ぎず、ユーザー側の立場にたって進んでいってくれるといいのでは。
3. 地球観測技術を利用して、北朝鮮等の動きを情報公開して圧力をかけて欲しい。
4. 県レベルでの植物の生育状況が把握出来るシステムが有ればと思う。
5. 環境汚染せず文明発展できるような発明。石油に頼らない科学の発展。そうすれば国と国とで資源争いもなくなる。それらに電波が利用できればよいと思った。
6. 不法電波取締り状況。
7. 低い周波数HF。MFの利用形態も変わってくるのでしょうか？
8. ルービックキューブ衛星(本衛星のおもり?)の電波、免許。ビーコンなどは、免許上どのようになっているのでしょうか？
9. 防災や極地点で降る雨の情報と利用を充実されれば。
10. センサー技術、無線と有線の組合せ、ウェアラブル機器。
11. 位置情報のサービス提供。
12. 防災時での移動体通信サービスの充実。
13. ドップラーレーダー(合成開口レーダー)を使った地上観測技術。
14. 現在、船舶で利用されているAISの情報通信から得られる多数の船舶データは、いわゆる“ビックデータ”の一つとして有効利用していくことを考えていきたいです。
15. 防災や高齢化へ向けての利用、実用化。
16. 自動車の事故防止につながるレーダーサポートの更なる推進化。
17. 携帯電話の更なる利用策。
18. 無線通信の最新技術。
19. 非常時の通信確保について。
20. 周波数の再編について、詳しく知りたいです。

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. 宇宙の起源。電波による宇宙観測とその成果。
2. HF、MFで発生する雑音の低減など、短波帯や国際放送などの影響や対策方法。
3. 携帯の新技术LTEのその先の技術や導入など(3.9世代はこえられている)サービスを開始しないと公開されない技術か？
4. センサー技術、無線と有線の組合せ、ウェアラブル機器。
5. 資格試験の対策講座などあれば大変助かります。また、今回の様な人間的な内容から始まるシリーズもあれば良いと思います。
6. 海上や船舶からの電波を利用した情報通信技術に関するテーマを希望します。
7. 中小企業ではセキュリティの心配があるためか、無線LANを使っていないところが多い。安心して使うためのセミナー等があればと思う。(自社で使っている無線LANの規格(WEP、WPA)・・・を知らないことも多い)
8. 電波の効率的な利用について。
9. これまでになかった電波の使い方等。(活用方法の拡大について)
10. 身近な無線通信の最新技術。
11. 日常生活に関係する電波について。
12. 不法・妨害電波について。
13. 非常時の通信について。
14. ICタグやGPS等を活用した身近な生活での「見守りサービス」の実態について講演いただきたいです。
15. スマートメータに利用されるマルチホップ通信。